

南海放送

事業の名称

島の高校でラジオ番組の制作・放送を通じた伯方島と分校の魅力発信に繋がるメディアリテラシー事業

共同で事業を実施した団体

愛媛県立今治西高等学校伯方分校

事業概要

愛媛県立今治西高等学校伯方分校は瀬戸内海の中央部、しまなみ海道沿いに浮かぶ伯方島にあります。伯方分校はかつて愛媛県立伯方高校という学校でしたが、入学者の減少により愛媛県が定める基準を達成できなかったため、2019年4月から今治西高校の分校として再スタートを切りました。全校生徒80人程度の小規模校ながら、島の特性を活かした少人数ならではの個性を大切にされた教育が行われ、在校生たちは充実した高校生活を過ごしています。しかし、県の県立高校再整備計画によると、次は伯方分校の生徒募集が停止となる可能性があります。そこで、島に一つだけの高校を存続させようと、地元行政や住民が主体となって特色ある学校づくりを進めているところです。

本事業は伯方分校の生徒たちと一緒にラジオについて学びながら、ラジオやテレビのニュース、SNSでの発信などを通じて、伯方島や分校での高校生活の魅力を発信しようというものです。愛媛県内、そしてradikoを通じて全国に向けて発信することで、ラジオが地域にムーブメントを起こし、誇りと自信を醸成できるメディアであると知ってもらうことを目標としました。

【取材活動、講演会、ラジオ放送など】

●2022年4月27日（水）：ラジオ放送（15時20～24分）

伯方分校では「放課後情熱学園」として、教育、芸能、文化など各方面で活躍する著名人を講師に招き、特別授業を実施している。この企画で“校長”役を務める、タレントのMr. 都市伝説 関暁夫氏に、午後の生ワイドラジオ番組『Tips』内で電話取材した。

●6月22日（水）：講演会

伯方分校にて、『Tips』を担当する正岡省吾氏（ラジオプレゼンター）、君岡きらら氏（アシスタントディレクター）による講演「ラジオの楽しみ方・ラジオでの表現力についての」を開催。生徒8人が参加した。

※当日の様子は、テレビのニュースで放送し、南海放送の公式FacebookやTwitterでも発信した。

※7月9日（土）には、講演の感想について生徒8人のインタビューをラジオ番組



『Smilemix』（10時40分～51分）で放送した。

● 8月4日（木）ラジオ番組への出演体験および局舎見学会
『Tips』のスタジオゲストとして5人の生徒が生出演。終了後にラジオ番組を収録した。また、局舎の見学会も実施した。

※当日の様子は、南海放送の公式FacebookやTwitterでも発信した。



● 8月11日、18日、25日、9月1日（いずれも木曜日）：

収録したラジオ番組を放送（『Tips』内で13時10分～12分ごろ、計4回）

・ 第1回（8月11日）

テーマ：伯方分校の学校生活、イルカ体験、総合学習

出演した生徒：村上巧磨さん

・ 第2回（8月18日）

テーマ：伯方分校の学校生活、部活動の紹介、県外出身者としての寮生活体験

出演した生徒：馬場叶羽さん

・ 第3回（8月25日）

テーマ：地元出身者として感じる伯方島の魅力をPR

出演した生徒：阿部縁さん

・ 第4回（9月1日）

テーマ：伯方島の外部出身者として感じる島と伯方分校の魅力

出演した生徒：曾根和馬さん

● 9月6日（火）：ラジオ放送（12時30～35分）

伯方分校の運動会を『Tips』で生中継し、生徒2人にインタビュー取材した。

● 9月13日（火）：学校を取材

伯方分校の総合学習では、8つの班に分かれて学びを深めている。その様子取材した。

※当日の様子は10月6日、13日（いずれも木曜日）に『Tips』内で放送した。

※10月6日の放送では、「ふるさとCM」班を特集。学校の魅力を伝えるべく東京から外部講師を招き、生徒主体となって苦戦しながらもCM制作している様子を伝えた。

※10月13日の放送では、「段ボールベッド」の制作に取り組む班、実際に自転車に乗りサイクリングの魅力を学ぶ班など、そのほかの各班の生徒の頑張りを紹介した。

● 12月19日（月）：講演会

伯方分校にて、俳句のレギュラー番組を担当する家藤正人氏（ラジオプレゼンター）による講演「俳句とラジオについて」を開催。生徒10人が参加した。

※当日の様子は、南海放送の公式FacebookやTwitterでも発信した。また、翌日にはテレビのニュースで放送した。

●2023年1月7日（土）：ラジオ放送（10時41分～50分）

ラジオ番組『Smilemix』で家藤正人氏による講演「俳句とラジオについて」の様子について、生徒10人のインタビューを放送した。



●2月7日（火）：講演会および意見交換会

伯方分校にて、近廣昌志氏（ラジオプレゼンター）による講演「わかりやすい経済について」を開催。続いて、参加した生徒10人と本事業についての意見交換会を開いた。

事業の成果

伯方分校の生徒にとって、ラジオは普段接することがほとんどないメディアでしたが、熱心に講演を聞き、取材や番組出演にも積極的に取り組んでくれました。

当初は新型コロナウイルスの感染状況の影響を考慮して、リモート形式によるラジオプレゼンターの講演や交流会を予定していましたが、分校の理解を得て、すべてリアル開催で進めることができました。リアル開催したことで、言葉のみで表現するというラジオメディアの特性について、より実践的に学んでもらえました。また、講演会終了後には生徒にインタビューし、その模様を放送しました。

南海放送の本社を訪問する機会も設け、生ワイド番組への出演や番組収録を通じて、生徒たちは伯方島や伯方分校の魅力、島ならではの高校生活の模様を自らの言葉で紹介しました。運動会や総合学習など学校行事も取材し、現地から生中継することで、ラジオならではの機動力も知ってもらえたと思います。また、意見交換会を通じて、ラジオで喋るという仕事に興味を持った生徒もいたようです。

若年層のラジオ離れが叫ばれていますが、本事業を通じて実際にラジオの存在とその魅力を体感してもらうことができました。われわれにとっても、ラジオの可能性を感じる機会となりました。今回の取り組みをきっかけに、今後もラジオに親しんでもらいたいと願っています。なお、今回の取材で活用したICレコーダーやマイクは、伯方分校に寄贈したので、音声コンテンツの収録などに活用してもらいたいと思います。

以 上